別記様式

発行番号　更2023-0091号

認　　定　　証

種　　別		消火設備（消火設備用合成樹脂製の管及び管継手）
型　式　記　号		PEFD-01
適　用　規　格		Ｂ０１８－１９・Ｂ０１９－１９
申請者名	所　在　地	大阪府大阪市北区西天満２－４－４
	名　　称	積水化学工業株式会社
	代　表　者	代表取締役社長　加藤　敬太
認　定　番　号		PL-023-1号
認定年月日		平成21年（2009年）12月24日
認定有効期限		令和08年（2026年）03月31日

上記適用規格に適合するものであることを認定します。

JAB Product P0190

FESC

一般財団法人 日本消防設備安全センター
理事長　北　崎　秀　一

様式1号

合成樹脂製管等の明細書

申請者　積水化学工業株式会社

承認
'22.8.23
一般財団法人
日本消防設備安全センター

項目			明細
1 型式記号			PEFD-01
2 呼び径			100　A
3 最高使用圧力			1.2　MPa
4 最大支持間隔			2.0　m
5 材質	規格		建築設備用ポリエチレンパイプシステム研究会規格 水道配水用ポリエチレン管(PWA001) 水道配水用ポリエチレン継手(PWA002) 消火配管用ポリエチレン管継手(PWA009)
	材質		高密度ポリエチレン
	引張・降伏強さ		規格値　20.0　N／mm^2
			試験値　22.1　N／mm^2
6 管継手の種類 (下線管継手種類を追加)			直管100、EFソケット100、フランジ付EFチーズ100X75G形JIS10K、EF90° エルボ100、90° ベンド100、フランジ短管100G形JIS10K、EFチーズ100、EF片受レジューサ100X75、EF片受直管100、キャップ100、フランジ短管100F形JIS10K、EF45° エルボ100、EFチーズ100×65、EFチーズ100×50、SPスクリュージョイント100(メネジ)
7 接続方法(方式)			EF接合
8 等価管長	EF90°エルボ100		5.0　m
	EF90°ベンド100		2.0　m
	EFチーズ100×75(分流)		6.6　m
	EFチーズ100×75(直流)		1.9　m
	EFチーズ100(分流)		8.8　m
	EFチーズ100(直流)		3.5　m
	EF片受レジューサ100X75		3.6　m
	EF45°エルボ100		3.0　m
	EFチーズ100×50(分流)		3.9　m
	EFチーズ100×50(直流)		0.4　m
	EFチーズ100×65(分流)		3.5　m
	EFチーズ100×65(直流)		0.7　m
9 用いることができる消火剤			なし
10 特殊試験項目	気密試験		有　(無)
	長期静水圧試験		(有)　無
	耐薬品性試験		有　(無)
	耐候性試験		有　(無)
	耐熱性試験	標準耐熱性試験	有　(無)
		軽易耐熱性試験	有　(無)
	高難燃ノンハロゲン性試験		有　(無)
11 適用消火設備	屋内消火栓設備		(該当)　非該当
	屋外消火栓設備		(該当)　非該当
	スプリンクラー設備	湿式	(該当)　非該当
		乾式	該当　(非該当)
		一斉開閉弁の二次側	該当　(非該当)
	水噴霧消火設備	湿式	(該当)　非該当
		乾式	該当　(非該当)
	泡消火設備 (但し、消火剤混合装置の一次側で水配管に限る)	湿式	(該当)　非該当
		乾式	該当　(非該当)

合 成 樹 脂 製 管 等 の 基 本 設 計 事 項

申請者　積水化学工業株式会社

承認
'22.8.23
一般財団法人
日本消防設備安全センター

(1)　使用する消火設備の種類、湿式・乾式の別、使用する部位、設置場所

消火設備の種類	・・・	合成樹脂製管及び管継手
湿式・乾式の別	・・・	湿式
使用する部位	・・・	配管
設置場所	・・・	屋内/屋外消火栓設備、スプリンクラー設備 水噴霧消火設備、泡消火設備

(2)　使用する材料のミルシート又は強度検査成績表

技術資料添付

(3)　管及び管継手の接続方法、施工方法

接続方法はEF接合であり、管継手内に埋め込まれた電熱線に電流を流すことにより、管表面と管継手内面を同時に溶かして融着・接合します。溶けた樹脂は体積が増加し、界面に圧力が生じて管と管継手は融着され、完全に一体化します。

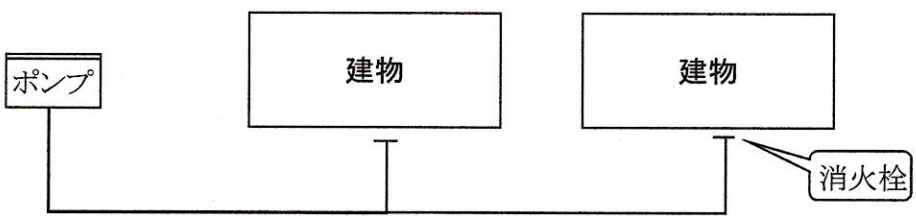
施工方法

①	管の切断	⑤	融着面の切削	⑨	融着
②	管の清掃	⑥	継手内面と管外面の清掃	⑩	冷却
③	挿入標線の記入	⑦	継手と管の固定	⑪	検査
④	切削面の記入	⑧	融着準備		

(4)　管等(管に管継手を接続した試験試料の図面)

図面添付

(5)　支持方法を含めた設置方法

配管の支持は、横走り配管にあっては棒鋼吊り及び形鋼振れ止め支持、立て管にあっては形鋼振れ止め支持とする。

(6)　加圧送水装置から端末機器(スプリンクラーヘッド等)までの間で使用する部位を明らかにした代表的な設備系統図